

能勢町障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉 計画の見直しのための事業所アンケート調査

皆様には、日頃より、能勢町の福祉環境の発展にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このアンケート調査票は、能勢町障がい者計画・障がい福祉計画及び障がい児福祉計画の見直しに当たって、障がい福祉サービスの事業者のお考えなどを把握し、計画策定の基礎資料とするものです。ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしく申し上げます。

ご記入いただいたこのアンケートは、

令和8年●月●日（●）までに

同封の返信用封筒（切手は不要）にてご提出くださいますようお願い申し上げます。

また、本アンケートはインターネットでもご回答が可能です。

インターネットでご回答の場合は、下記 URL 又は下記二次元コードからアクセスしてください。

URL

二次元コード

本調査票返送先・問い合わせ先



能勢町保健福祉センター 福祉部福祉課
〒563-0351 能勢町栗栖82番地の1
TEL:072-731-2150 FAX:072-731-2151
E-Mail : hukusi@town.nose.osaka.jp

能勢町障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画の見直しのための事業所アンケート調査

問1 貴事業所名及び本シートご回答者名をご記入ください。	
法人名	
事業所名	
回答者名	
実施している障がい福祉サービス名	

*記入欄が不足する場合は、余白部分にお書きいただくか別紙に記載いただきましても結構です。

問2 貴事業所の運営において、課題となっていることはありますか。 (あてはまるものすべてに○)	
1 人材の確保・定着	2 人材の育成
3 医療的ケアの必要な方の受け入れ	4 利用者との関係づくり
5 報酬体系・報酬額の低さ	6 障がい支援区分による利用制限
7 受け入れの際の利用者情報の不足	8 利用希望に対する調整
9 関係機関とのネットワークづくり	10 困難事例への対応
11 サービス等利用計画作成までの業務の効率性	12 施設整備費の確保
13 近隣住民との関係	14 相談件数の増加・多様化
15 その他(具体的に: _____)	

問3 貴事業所では、ここ2～3年間で、サービス利用者の数はどう変化していますか。 (○は1つ)	
1 増加した	2 横ばいである
3 減少した	4 わからない

問4 貴事業所では、今後サービス利用を希望する方の人数が、どのように変化すると見込んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 増加すると見込んでいる | 2 横ばいであると見込んでいる |
| 3 減少すると見込んでいる | 4 わからない |

問4-1 上記において、ご回答いただいた理由を教えてください。

問5 過去2～3年間で、利用者からの依頼に対して、受け入れ（サービス提供）ができなかったことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|------|
| 1 ある | 2 ない |
| 3 分からない | |

問5-1 上記において、「1 ある」と答えた方にお聞きします。
その主な理由についてお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 受け入れ体制の不足（人員・設備・定員超過等）
- 2 希望日時・時間帯が重なり対応できなかった
- 3 サービス提供時間外の希望だった
- 4 事業所での対応が難しいケースだった（医療的ケア、重度障がい等）
- 5 利用者や保護者との間でトラブルがあった
- 6 その他（具体的に： _____)

問6 新たなサービス事業所の開設等について、予定がございましたら、ご記入ください。また、開設に当たって、課題になっていることや能勢町に支援してほしいこと等がございましたら、具体的にご記入ください。

問7 障がいのある方が働くに当たって、充実してほしい取組は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 企業や団体等が障がい者を積極的に雇用する
- 2 在宅で仕事ができるような仕組みを推進する
- 3 障がい者が仕事をするうえでの援助をする人（ジョブコーチ）を充実する
- 4 経営者や職場の同僚等に障がい者に対する理解を促進する
- 5 仕事をするための訓練や講習等を充実する
- 6 職場までの交通手段を充実させる等、利用しやすいように改善する
- 7 就労や仕事に関する情報提供や、相談体制を充実する
- 8 その他（具体的に： _____)
- 9 特に充実してほしい取組はない

問8 サービスの質・量の確保に向けた課題等（利用者ニーズのくみ取り方、利用者や家族の要望、苦情への対応、サービス評価、情報公開、人材養成・活用等）がありましたら、ご記入ください。

問9 災害等、緊急時の対応についてお聞きします。

(1) 緊急時の対応マニュアルや避難訓練等、貴事業所として取り組んでいることがあれば、教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 事業継続計画（BCP）を策定している（※策定している場合、BCPをご恵与くださいますと幸いです。）
- 2 定期的に避難訓練を実施している
- 3 災害時の備蓄品（食料・水・医薬品等）を整備している
- 4 ロッカーや棚等の転倒防止措置を行っている
- 5 緊急連絡網を作成している
- 6 利用者・家族等との安否確認や連絡方法を共有している
- 7 利用者・家族等と避難場所を共有している
- 8 避難行動計画や災害発生時対応マニュアルを作成している
- 9 避難経路を確保している
- 10 建物の耐震化を進めている
- 11 利用者や職員の情報を紙媒体でも保管している
- 12 特に取り組んでいない
- 13 その他（具体的に： _____)

(2) 今後取り組んでいく必要性の高い取組にはどのようなものが考えられるか、ご意見をお聞かせください。

(3) 緊急時に備えた対応を充実させていくに当たっては地域の皆様のご協力が欠かせないと考えています。(2) の取組のうち、今後ご協力をいただくことができる事項があれば、ご教示ください。

問10 障がい者に対する人権侵害や虐待の防止についてお聞きします。

(1) 障がい者の権利擁護や虐待防止に向けて、貴事業所が取り組んでいることがあれば、教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 権利擁護や虐待防止に関する職員研修を定期的実施している
- 2 虐待防止マニュアルやチェックリストを整備し、職員に周知している
- 3 虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者を定めている
- 4 虐待防止のための対策を検討する委員会等を設置している
- 5 苦情相談窓口や通報体制を整備している
- 6 福祉サービス第三者評価や外部専門家によるチェックを受けている
- 7 職員間で日常的に情報共有やケース検討を行っている
- 8 その他(具体的に：)
- 9 特に取り組んでいない

(2) 障がい者の権利擁護や虐待防止は事業所にとどまらず、当事者団体や地域、行政が連携協働した取組が必要と考えられますが、その実現にはどのような取組が必要だとお考えですか。

(3) 障がい者支援施設等においては、「緊急やむを得ない場合」を除き、身体拘束を行ってはならないとされていますが、身体拘束ゼロを実現するための取組を教えてください。

① 身体拘束ゼロのためのマニュアルを作っていますか。

1 作っている 2 検討中 3 作っていない

※ マニュアルがある場合、ご恵与くださると幸いです。

② やむを得ず身体拘束を行う場合、本人や家族の同意書を取っていますか。

1 同意書を取っている 2 検討中 3 同意書を取っていない

③ 身体拘束ゼロのための職員研修を行っていますか。

1 行っている 2 検討中 3 行っていない

※ 職員研修を行っている場合は、令和7年度の研修計画をご恵与くださると幸いです。

問11 地域やその他の団体・行政との連携に関する課題等がありましたら、ご記入ください。

問12 発達障がい児（者）の早期発見及び適切な支援に向けた取組についてご意見やご提言がありましたら、ご記入ください。

問13 障がい者とその家族が地域生活を送るに当たっての問題点等がありましたら、ご記入ください。

問14 障がい者が地域で生活する条件として、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 介助者の確保 | 2 生活費の確保 |
| 3 グループホーム等の住まいの整備 | 4 外出しやすい生活環境 |
| 5 近くに通える施設や作業所の確保 | 6 在宅で可能な医療体制 |
| 7 相談相手や相談機関の充実 | 8 生活費の管理 |
| 9 地域住民の理解 | 10 外泊訓練・体験場所の確保 |
| 11 住宅のバリアフリー化 | 12 住宅の賃貸契約に伴う保証人等の支援 |
| 13 その他（具体的に： | ） |

問15 利用者が地域生活へ移行するにあたり、貴事業所で実際に行っている取組がありましたら、ご記入ください。

問16 貴事業者として町に望むことがありましたら、教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 障がい福祉に関する最新・適切な情報提供
- 2 障がい福祉サービス事業者のスキルアップ（育成）のための研修の支援
- 3 障がい福祉サービス事業者の人材確保・定着のための支援
- 4 障がい福祉サービス費請求等に関する相談体制の充実
- 5 不適正な事業所への指導
- 6 住民への適正なサービス利用についての啓発
- 7 処遇困難者への対応
- 8 事務手続きの簡略化
- 9 ボランティアの育成
- 10 保護者（介護者）支援策の充実
- 11 特になし
- 12 その他（具体的に： _____)

問17 その他、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

能勢町では、計画策定の見直しに当たって、各事業者の皆さまに対してヒアリング調査を実施したいと考えています。

下記の日程について、調整が可能な日付すべてに○を、調整が不可能な日付には×をご記入ください。

また、ヒアリング場所のご希望についてもご記入ください。

(ヒアリングは、能勢町障がい者計画等見直し業務の委託業者が参加する予定です。また、ヒアリングは1時間程度を想定しています。)

※状況に応じましては、下記の候補日以外での実施をお願いさせていただく可能性がございます。その際は、改めてご相談させていただきますので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

ヒアリング日時	午前	午後
5月〇日(月)		
5月〇日(火)		
5月〇日(水)		
5月〇日(木)		
5月〇日(金)		
5月〇日(月)		
5月〇日(火)		
5月〇日(水)		
5月〇日(木)		
5月〇日(金)		

ヒアリングについてお聞きします。

ヒアリング希望場所について、あてはまるものにすべて○をつけてください。

1 貴施設

2 その他 ()

本件の日程調整に関しましては、他団体の希望日程との調整を行ったうえで、下記の委託業者より改めてご連絡させていただきます。

株式会社 国土開発センター 技術開発研究所 環境事業部 環境2部
TEL : 076-274-8818 E-mail : kankyokeikaku@kokudonet.co.jp

質問は以上です。

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。